



はじめてみる、ちひろの世界。

いわさきちひろ × 佐藤 卓 = 展

Chihiro Iwasaki

Taku Satoh

Exhibition

7月17日(金)～9月23日(水・祝)



1-1, いわさきちひろ × 佐藤 卓 “風船と舞い上がる少年 × あ” 2014年

現代を代表するグラフィックデザイナー・佐藤 卓が、いわさきちひろをプロデュース!

「ロッテ キシリトールガム」「明治おいしい牛乳」などのパッケージデザインや、NHK Eテレ「デザインあ」の総合指導などで注目を集めるグラフィックデザイナー・佐藤 卓。佐藤 卓のデザインは、ものの本質を見極め、ものに物語を与え、ものと人、人と人とを結びつけます。また、思いがけない発想で、人に新たなものの見方を提示します。

本展では、世代を越えて愛されてきたいわさきちひろの絵を、佐藤 卓がプロデュースします。佐藤 卓が介入することで、ちひろの既成概念が取り払われ、普遍的な存在だと思われてきたその絵のもつ新たな魅力が開かれます。まさに“はじめてみる、ちひろの世界”をご覧ください。

展覧会名：<企画展>はじめてみる、ちひろの世界。
いわさきちひろ × 佐藤 卓 = 展

会期：2015年7月17日(金)～9月23日(水・祝)
○開館時間＝9：00～17：00(8/8～8/16は18：00まで)
○休館日＝第2・4水曜日(8月は無休)

会場：安曇野ちひろ美術館
展示室1・2 多目的ギャラリー ほか

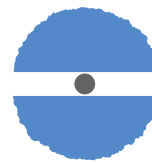
料金：大人800円／高校生以下無料
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

協力：佐藤卓デザイン事務所、
(株)ライティングプランナーズ アソシエーツ



1-2, ロットェキシリトールガム



ちひろ美術館シンボルマーク



1-3, 明治おいしい牛乳

佐藤 卓 Taku Satoh (グラフィックデザイナー)

1979年東京藝術大学デザイン科卒業、1981年同大学院修了、株式会社電通を経て、1984年佐藤卓デザイン事務所設立。「ロッテ キシリトールガム」「明治おいしい牛乳」等のパッケージデザイン、「PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE」のグラフィックデザイン、「クリンスイ」のグランドデザイン、武蔵野美術大学 美術館・図書館のロゴ、サイン及びファニチャーデザインを手掛ける。また、NHK Eテレ「にほんごであそぼ」の企画メンバー及びアートディレクター・「デザインあ」総合指導、21_21 DESIGN SIGHT ディレクターを務める。



展覧会の見どころ：佐藤 卓のデザイン採集 — 佐藤 卓の考えるデザインとは？

日常私たちがなげなく目にしているものにも、佐藤 卓がデザインしたものはたくさんあります。佐藤 卓が手がけたデザインの数々を紹介します。

「日常のあらゆる物事に、デザインは必要です。日々買い物をする時に出会う全ての商品はデザインされていますし、道を歩けば信号も、道路標識も、道そのものだって多くの人が暮らすためのデザインです。カッコいいものやおしゃれなものだけがデザインではありません。普段、気がつかないところにも多くのデザインが潜んでいて、私達の生活を支えています。そして気がつかないでいいデザインもいっぱいあります。だからデザインは、その都度「わきまえる」ことが大切だと思っています。」(佐藤 卓)



1-4, エスピー食品
スパイス&ハーブシリーズ

佐藤 卓が選んだ、ちひろの絵 — ちひろの絵の新たな魅力をみせる

ちひろの9400点を超える作品のなかから、「ちひろの描く線画」と「ちひろの描く子どもたち」のテーマで、佐藤 卓が絵を選んでいきます。

「ちひろの絵は、確実なデッサン力の上に成り立っています。優しく、子どもにも自然に入り込める、一見簡単そうに見える淡い絵も、デッサン力なくしては描けません。そしてスケッチを見てみると、常にさまざまなもののデッサンをしていたことが分かります。対象に集中して、どんな線で、どんな形で描けばいいのかを厳しく追及していた形跡が、スケッチのそこそこに発見できます。そして、そのスケッチの線が、とてもいきいきしているのです。」(佐藤 卓)



1-7



1-5



1-6

1-5, いわさきちひろ 葛温泉・高瀬川で遊ぶ子どもたち 1956年、
1-6, なずな 1970年、1-7, ひまわりとあかちゃん 1971年

ちひろと佐藤 卓の実験室 — ふたりのコラボレーションから生まれた新作を展示

ちひろが絵を描いたときからおよそ半世紀。ちひろの絵に、佐藤 卓が関わって生まれた作品「いわさきちひろ × 佐藤 卓=箱」「いわさきちひろ × 佐藤 卓=線のパターン」を展示します。

「ちひろのスケッチに触発されて、その生き活きた線を取り出し、パターンデザインにしてみてもどうだろうか。そして平面のちひろの絵に、立体物を組み合わせてみたらどうなるだろうかと、アイデアが湧いてきました。今までそのようなことをしたことがないということを知り、さらに「やってみよう」という想いが強くなり、ここに展示させていただくことになりました。変えてはいけないことを大切にすると共に、常に変化を恐れないということも大切だと思うのです。」(佐藤 卓)



1-8, いわさきちひろ × 佐藤 卓
“机に向かう少年 × ロッチェ キシリトールガム” 2014年

←2014年ちひろ美術館・東京での展示の様子



出展作品数：佐藤 卓のデザイン 約20点、いわさきちひろの絵 約70点、ちひろ×佐藤 卓の作品 約40点

主な出展作品：佐藤 卓 ニッカウキスキー ピュアモルト 1984年、佐藤 卓 スパイス&ハーブシリーズ 2006年～、
いわさきちひろ 風船と舞い上がる少年『あかいふうせん』(偕成社)より 1968年、いわさきちひろ 黄色い傘の少女 1969年、
ちひろ×佐藤 卓=箱 約30点、ちひろ×佐藤 卓=パナー 約 10点 ほか

関連イベント：●いわさきちひろ×佐藤 卓=展 ワークショップ

展覧会に関連し、ちひろの絵とコラボレーションするワークショップを開催します。

○中学生ボランティアによる
ちひろの絵と箱コラボレーション

箱を立体キャンパスに見立て、ちひろの絵と「何か」を組み合わせ、ちひろの絵とコラボレーション作品をつくります。
期間中、中学生ボランティアによる、安曇野ちひろ美術館ガイドツアーも行います。

日程：7/29 (水)～8/16 (日)

参加費：500円(入館料別) 定員：1日3回 各回10名(先着順)

○ちひろの線とコラボレーション

佐藤 卓が選んだちひろの「線」をもとに、自由に描いてみましょう！

投稿作品のなかから選ばれた作品を、美術館に展示します。

こちらは、7/17 (金)～9/23 (水・祝)の展覧会会期中、毎日開催しています。

参加費：無料(入館料別)

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～14:30

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2 ほか

料金：無料(入館料別)

申し込み：不要(参加自由)

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※掲載紙/誌をご送付ください。



1-9、いわさきちひろ 緑の風のなかで 1973年



1-10



1-11

2016年夏に、安曇野ちひろ公園(松川村営)にオープンするトットちゃんの広場。広場に設置される「電車の教室」と「モハとデハニ」(電車の愛称)のロゴデザインも佐藤 卓によるものです。

1-10、トットちゃんの広場 電車の教室 ロゴマーク 2015年

1-11、トットちゃんの広場 モハとデハニ ロゴマーク 2015年



ちひろ美術館コレクション

衣装あれこれ!? 世界の絵本展

7月17日(金)～9月23日(水・祝)

コスチュームから楽しむ世界の絵本!

独自のスタイルや模様で彩られた美しい衣装は民族の象徴であり、ときに服装がその人の性格や社会的な立場を表すなど、衣装を通して人はさまざまなことを表現してきました。絵本のなかでは、動物たちに服を着せて擬人化し、人間の本質をユーモラスに表現したり、奇抜な衣装に身を包んだファンタジーの住人たちが登場したりもします。

本展では、ちひろ美術館コレクションから、“衣装”をテーマに世界各国の絵本画家の作品を紹介します。それぞれの国の文化や伝統を背景に、画家たちが趣向を凝らして描いた衣装の数々をお楽しみください。



2-1, ユゼフ・ヴィルコン (ポーランド)
『イタチの襟巻きをしたトラ』より 1989年



2-2, ボロルマー・バーサンスレン (モンゴル)
『ぼくのうちはゲル』(石風社)より 2004年



2-3, キアラ・ラパッチェーニ (イタリア)
『ねえ こっちむいて!』(小学館)より 1998年

展覧会名：ちひろ美術館コレクション 衣装あれこれ!? 世界の絵本展

会期：2015年7月17日(金)～9月23日(水・祝)

○開館時間＝9：00～17：00(8/8～8/16は～18：00)

○休館日＝第2・4水曜日(8月は無休)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3・4

料金：大人800円／高校生以下無料

団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

展覧会の見どころ：約10種類の民族衣装を紹介！

絵本原画を中心にしたちひろ美術館コレクションは、世界33の国と地域にもおよび、その作品にはさまざまな民族衣装が登場します。その地域特有の自然環境や風土、文化や伝統のなかで生まれた民族衣装からは、世界の文化の多様性が感じられます。

動物だっておしゃれする

ロシアの高官を思わせる襟の高い外套を着たおおかみ、映画女優をイメージした黒い帽子とファーで着飾った牛の貴婦人、シルクハットに燕尾服のつばめ……。絵本のなかの動物たちはおしゃれを楽しみ、ときに衣装が登場人物の性格や社会的立場を表しています。

空想上の奇抜なコスチュームも

神話やファンタジーなど架空の世界の物語では、登場人物の衣装にも想像を広げて、舞台上にふさわしい装いを描いています。絵本ならではの自由な発想をお楽しみください。

- 主な出展作品：
- ・赤羽末吉（日本）『そらにげろ』（偕成社）より 1978年
 - ・ボロルマー・バーサンスレン（モンゴル）『ぼくのうちはゲル』（石風社）より 2004年
 - ・エフゲーニー・ラチョフ（ロシア）『つばのおうち』より 1959年
 - ・ユゼフ・ヴィルコン（ポーランド）『イタチの襟巻きをしたトラ』より 1989年
 - ・ローベルト・ブルン（スロヴァキア）『シンデレラ』より 1989年

出展作品数：約100点

関連イベント：ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話しします。

日時：毎月第2・4土曜日 14:30～15:00

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3・4

料金：無料（入館料別）

申し込み：不要（参加自由）

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



2-4, エフゲーニー・ラチョフ（ロシア）『つばのおうち』より 1959年



2-5, ローベルト・ブルン（スロヴァキア）『シンデレラ』より 1989年



2-6, 赤羽末吉（日本）『そらにげろ』（偕成社）より 1978年



2-7, 清水良雄（日本）金魚 雑誌「赤い鳥」第2巻第2号 1931年

展示関連イベント
WORKSHOP

いわさきちひろ × 佐藤 卓 = 展 ワークショップ

展覧会に関連し、ちひろの絵とコラボレーションするワークショップを開催します。
期間中、中学生ボランティアによる、安曇野ちひろ美術館ガイドツアーも行います。



2014年 ちひろ美術館・東京での展示の様子

1

中学生ボランティアによる ちひろの絵と箱ラボレーション

7/29(水)
- 8/16(日)



箱を立体キャンバスに見立て、
ちひろの絵と「何か」を組み合わせ、
ちひろの絵とコラボレーション作品を作ります。

参加費：500円（入館料別）
定員：1日3回 各回10名（先着順）



2 ちひろの線とコラボレーション

全会期中

佐藤 卓が選んだちひろの「線」をもとに、自由に描いてみましょう！
投稿作品のなかから選ばれた作品を、美術館に展示します。
こちらは、7/17～9/23の会期中、毎日開催しています。

参加費：無料（入館料別）



2014年東京でのワークショップ参加者作品。いわさきちひろの「葛温泉・高瀬川で遊ぶ子どもたち」(1-5)から抽出した線に参加者が絵を描いています。



いわさきちひろ
黄色い傘の少女
1969年

松川中学校 図書委員による 絵本の読み聞かせ

日時：8月中（未定）
会場：安曇野ちひろ美術館
絵本の部屋

地元・松川中学校の図書委員が、
絵本の読み聞かせを行います。



2014年の様子

MUSEUM IN THE MORNING

朝のミュージアム 7月19日(日) 20日(月・祝) 8:00から特別開館

夏の2日間限定で、朝8時からの特別開館を行います。
安曇野のさわやかな朝のひとときに、ゆったりと展示をご覧ください。
絵本カフェも8時からオープン。おいしい目覚めのコーヒーや、
モーニングセットをご用意します。
9時からの「朝のおはなしの会」では、
中庭やカフェの外のテラスで、
絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行います。



朝のおはなしの会



撮影：橋本裕貴

Special Day!!
8.29^{sat}
21:00 closed

8月29日(土)は、
夜21時まで開館。

夜のミュージアム

この日は、開館時間を21時まで延長します。
夕暮れ時からライトアップされた、
いつもとは違った美術館を、
この機会にぜひお楽しみください。

Museum at Night!!

1 浴衣でご来館の方には、
カフェにてドリンクをサービス!
ご家族で、カップルで、夕涼みがてら、
ぜひお越しください。

2 **すずむしの音色を楽しもう** 19:00-
松川村の「すずむしの里松川村クリスタルシンフォニー」
の一環として、安曇野ちひろ公園で「すずむし採り」(無料)
が行われます。(雨天延期)
場所: 安曇野ちひろ公園

トットちゃんの肝だめし 19:30-
夏休みに、お寺で「肝だめし」をしたトットちゃん。
夜の安曇野ちひろ公園で初の「肝だめし」をします。
何が出るかな...? 参加自由です。
(19:30までに安曇野ちひろ美術館エントランス集合。)

今企画は、松川村「すずむしの里松川村クリスタルシンフォニー」(主催: 松川村観光協会/クリスタルシンフォニー実行委員会)の関連企画です。



2016夏トットちゃんの広場オープン・イベント

2016年夏に完成予定の安曇野ちひろ公園・トットちゃんの広場。2015年は毎月開催する『窓ぎわのトットちゃん』のエピソードにちなんだイベントに参加して、みんなで新たな公園の完成を待ちましょう!

イベント参加者限定のスタンプラリーも行っています。

*秋のイベント予定は次回ご案内します



トットちゃん大集合

8月9日(日) 9:00 ~ 18:00

8月9日は黒柳徹子館長の誕生日です。

全国のテツコさん、テツコちゃんも、安曇野ちひろ美術館に集合!

来館して下さった「トットちゃん」には、プレゼントをご用意します。

参加費: 無料(入館料別)

トットちゃんの肝だめし

詳細は「夜のミュージアム」(上部)の項目をご覧ください。

鉄道ファンあつまれ! 電車特別見学会Ⅱ

9月22日(火・祝) 13:00 ~ 15:00

昨年11月の特別見学会Ⅰには、たくさんの鉄道ファンをお迎えしました。

来年夏のオープンに向け、改修工事が進んだトットちゃんの電車の教室を、みんなで見学しましょう。

会場: 安曇野ちひろ美術館 正面入口に集合 参加費: 無料(入館料別)

近隣市町村入館無料デー

9月13日(日) 9:00 ~ 17:00 白馬・小谷村民入館無料デー

日ごろの感謝を込めて、美術館近くの市町村にお住まいのみなさまが入館無料でお楽しみいただけるご優待日を設けました。

敬老の日

9月21日(月・祝) 9:00 ~ 17:00

この日は、65歳以上の方は入館料無料となります。



●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時: 毎月第2・4土曜日 14:00 ~ ちひろ展

14:30 ~ 世界の絵本画家展または企画展

参加費: 無料(入館料のみ) 申し込み: 不要(参加自由)

●おはなしの会

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみください。

日時: 毎月第2・4土曜日 11:00 ~ 11:30

会場: 安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋

料金: 無料(入館料のみ) 申し込み: 不要(参加自由)



撮影: 橋本裕貴

●開館情報

8月は休まず開館します。お盆期間(8/8 ~ 8/16)は18:00まで開館延長します。

次回展示案内

9月26日(土) ~ 11月30日(月)

- ちひろを語るこの一点 「ぶどうを持つ少女」の魅力
- <企画展> 『はしれ、トト!』^{チビワゴン} 空宮の絵本づくり展
- ちひろ美術館コレクション 10人の絵本画家10の絵本づくり